

参加費・懇親会費

ご参加の方は同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、6月12日（水）までにお振込みをお願いいたします。そのお振込みをもちまして参加の申込みとさせていただきます。念のため当日は「振込払込請求書兼受領証」またはそのコピーをご持参ください。

なお、振り込まれました大会参加費等につきましては、不参加の場合でも返金に応じかねますので、あらかじめご了承ください。

| 大会参加費 | 懇親会費 |
|-----------------------|------------------------------|
| 2,000円 (会員・非会員問わず) | 5,000円(事前振込) 6,000円(当日支払) |

當日前後の交通手段・宿泊施設の状況

部会の当日およびその前後は、交通・宿ともに混み合うことが予想されます。ご参加いただけます場合にはお早めのご手配をおすすめいたします。

交通アクセス

- ◆ JR新千歳空港駅からJR札幌駅まで約40分
- ◆ JR札幌駅からJR小樽駅まで約40分
- ◆ 「小樽駅前」ジェイアールバス2番乗り場より中央バス小樽商大線(系統番号⑯)に乗車、終点の「小樽商大前」下車(乗車時間約10分。バス料金220円、タクシー利用の場合は小樽駅前から750円程度)

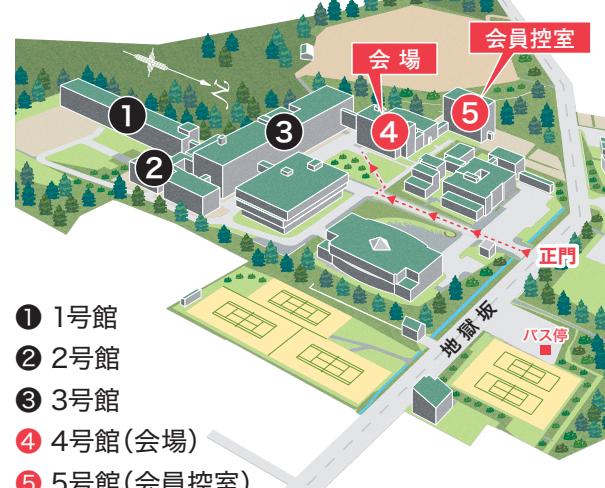


※公共交通機関のご利用をお願い申し上げます

アクセスマップ



キャンパスマップ(会場案内図)



日本簿記学会

第35回関東部会

統一論題

近年の北海道における 簿記事情

2019年6月22日(土)



国立大学法人
小樽商科大学



日本簿記学会第35回関東部会準備委員会

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
小樽商科大学商学部 石川 業 研究室
E-mail:ishikawa@res.otaru-uc.ac.jp

ご挨拶

会員各位

拝啓

晩春の候 会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、来たる2019年6月22日(土)に小樽商科大学におきまして、日本簿記学会第35回関東部会を開催させていただきます。

統一論題のテーマとして「近年の北海道における簿記事情」を設定いたしました。社会的制度を設計・運用していくとき、研究、実務、教育の3方面をバランスよく論じる必要があります。しかし、本簿記学会の会員の多くは大学人であり、バランスが研究寄りになってしまいがちかもしれません。そこで、あえて実務と教育に焦点を当てて、社会的制度の一つである簿記を議論することとしました。

ご登壇いただくのは、民間企業、簿記教育、行財政職、会計専門職からお一人ずつです。北海道におけるそれぞれの職域の中での簿記事情を語っていただきます。そして、4人の方とパネル・ディスカッションをいたします。

学期中につきご多忙とは存じますが、また、小樽という遠方ではございますが、多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

敬具

2019年4月吉日

日本簿記学会第35回関東部会準備委員会
準備委員長 簿本 智之
準備委員 石川 業
二村 雅子

プログラム

2019年6月22日(土) 小樽商科大学

11:30~12:30 学会賞審査委員会

4号館1階グローカル戦略推進センター・
コラボルーム

12:30~13:30 理事会

4号館1階グローカル戦略推進センター・
コラボルーム

13:00~16:30 参加者受付 4号館1階入口

会員控室 5号館1階172教室

統一論題 4号館1階160教室

14:00~14:05 開会挨拶

簿本 智之 (小樽商科大学)

14:05~14:15 論題の解題

石川 業 (小樽商科大学)

14:15~14:45 「小樽における商業の歴史と青色申告の現状に見る今後の課題」

高久 文夫氏
(澤の露本舗代表、小樽青色申告連合会会長、
小樽商工会議所記帳指導員)

14:45~15:15 「札幌国際情報高等学校における簿記教育のあり方と課題 - 北海道の商業高校における傾向を踏まえて - 」

前中 孝洋氏 (小樽商業高等学校教頭)

◆ 休憩10分 ◆

15:25~15:55 「日高町における財政上の課題と簿記の役割 - 北海道の町が抱える事情の一例として - 」

林谷 昌美氏 (日高町役場総務課長)

15:55~16:25 「北海道における会計業界の現状と課題」

富樫 正浩氏 (公認会計士)

◆ 休憩10分 ◆

16:35~17:35 討論

座長: 簿本 智之
討論者: 高久 文夫氏
前中 孝洋氏
林谷 昌美氏
富樫 正浩氏

18:00~20:00 懇親会

会場: おたる政寿司本店大ホール
住所: 小樽市花園1-1-1
TEL: 0134-23-0011

CPE 単位認定のご案内

本部会での報告・討論は、CPE認定研修として承認されており、次の通りCPEの単位が認定されます。

研修コード : 2001

統一論題報告(14:00~16:25) 2単位

統一論題討論(16:35~17:35) 1単位

